

2 【消費生活について】

(1) 消費者トラブルにあった経験の有無

◇「あったことがある」は1割台半ば

問10 消費者トラブルにあったことがありますか。(○は1つ)

<図表10-1> 消費者トラブルにあった経験の有無



消費者トラブルにあったことがあるか聞いたところ、「あったことがある」(16.2%)は1割台半ばとなっている。「あったことはない」(82.5%)は8割を超えている。(図表10-1)

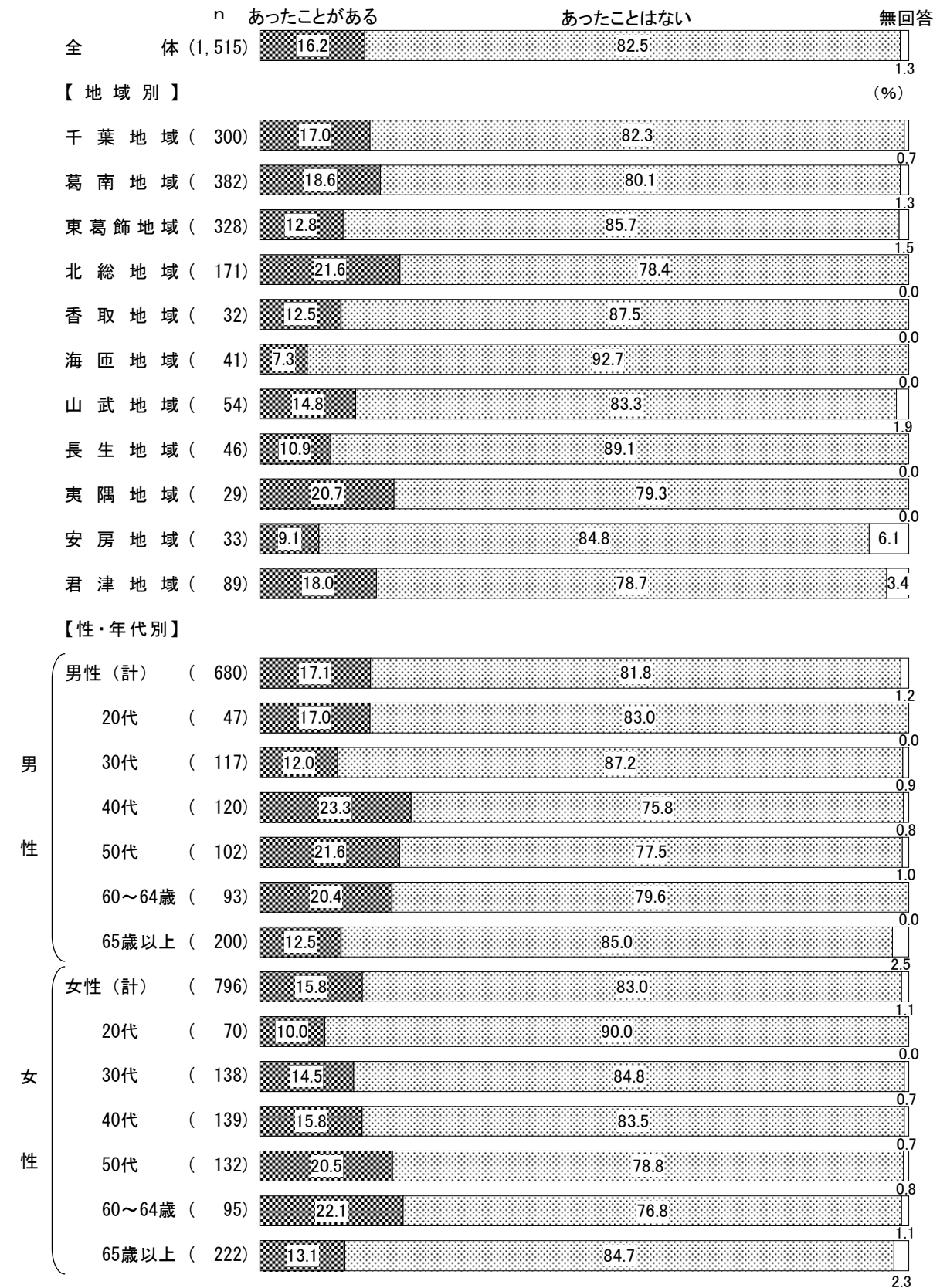
【地域別】

地域別にみると、「あったことがある」は“北総地域”(21.6%)と“夷隅地域”(20.7%)がともに2割を超えている。(図表10-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「あったことがある」は男性の40代から60~64歳(23.3%、21.6%、20.4%)、女性の50代と60~64歳(20.5%、22.1%)でいずれも2割を超えている。(図表10-2)

<図表10-2>消費者トラブルにあった経験の有無／地域別、性・年代別



(2) 消費者トラブルにあった時相談できるところの有無

◇「ある」は約4割

問11 消費者トラブルにあった時に、安心して相談できるところがありますか。(○は1つ)

<図表11-1>消費者トラブルにあった時相談できるところの有無



消費者トラブルにあった時に、安心して相談できるところがあるか聞いたところ、「ある」(38.9%)は約4割となっている。「ない」(41.7%)は4割を超えている。(図表11-1)

【地域別】

地域別にみると、「ある」は“葛南地域”(44.8%)、“北総地域”(43.3%)が4割台半ばとなっている。「ない」は“夷隅地域”(55.2%)と“安房地域”(54.5%)がともに5割台半ばとなっている。(図表11-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「ある」は女性(44.0%)の方が男性(33.8%)より10.2ポイント高くなっており、女性のすべての年代で4割から4割台半ばとなっている。(図表11-2)

<図表11-2>消費者トラブルにあった時相談できる場所の有無/地域別、性・年代別

		n	ある	ない	無回答	
全 体		(1,515)	38.9	41.7	19.3	
【地域別】 (%)						
千葉地域		(300)	39.3	45.0	15.7	
葛南地域		(382)	44.8	36.4	18.8	
東葛飾地域		(328)	32.6	44.2	23.2	
北総地域		(171)	43.3	39.2	17.5	
香取地域		(32)	28.1	46.9	25.0	
海匝地域		(41)	39.0	36.6	24.4	
山武地域		(54)	38.9	42.6	18.5	
長生地域		(46)	32.6	50.0	17.4	
夷隅地域		(29)	31.0	55.2	13.8	
安房地域		(33)	27.3	54.5	18.2	
君津地域		(89)	39.3	39.3	21.3	
【性・年代別】						
男 性	男性(計)		(680)	33.8	47.5	18.7
	20代		(47)	31.9	44.7	23.4
	30代		(117)	32.5	53.0	14.5
	40代		(120)	35.8	46.7	17.5
	50代		(102)	37.3	47.1	15.7
	60~64歳		(93)	26.9	52.7	20.4
	65歳以上		(200)	35.5	43.0	21.5
女 性	女性(計)		(796)	44.0	36.3	19.7
	20代		(70)	44.3	34.3	21.4
	30代		(138)	44.2	34.1	21.7
	40代		(139)	42.4	36.0	21.6
	50代		(132)	43.9	28.8	27.3
	60~64歳		(95)	45.3	40.0	14.7
	65歳以上		(222)	44.1	41.4	14.4

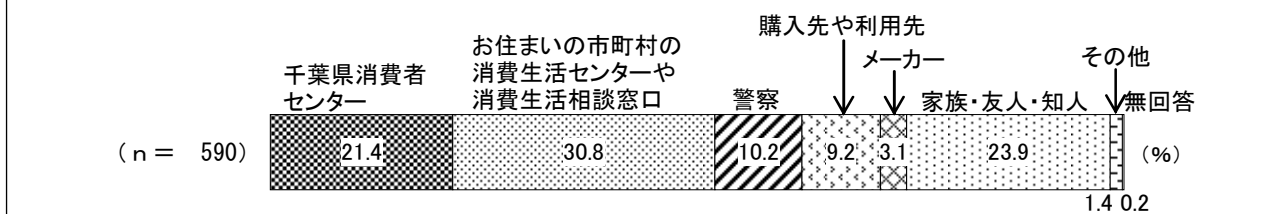
(2-1) 消費者トラブルを相談できるところ

◇「お住まいの市町村の消費生活センターや消費生活相談窓口」が3割

(問11で「ある」とお答えの方に)

問11-1 あなたが安心して相談できるところはどこですか。(〇は1つ)

<図表11-1-1>消費者トラブルを相談できるところ



消費者トラブルにあった時に、安心して相談できるところが「ある」と答えた人(590人)に、相談できるところを聞いたところ、「お住まいの市町村の消費生活センターや消費生活相談窓口」(30.8%)が3割で最も多くなっており、以下、「家族・友人・知人」(23.9%)、「千葉県消費者センター」(21.4%)などが続く。(図表11-1-1)

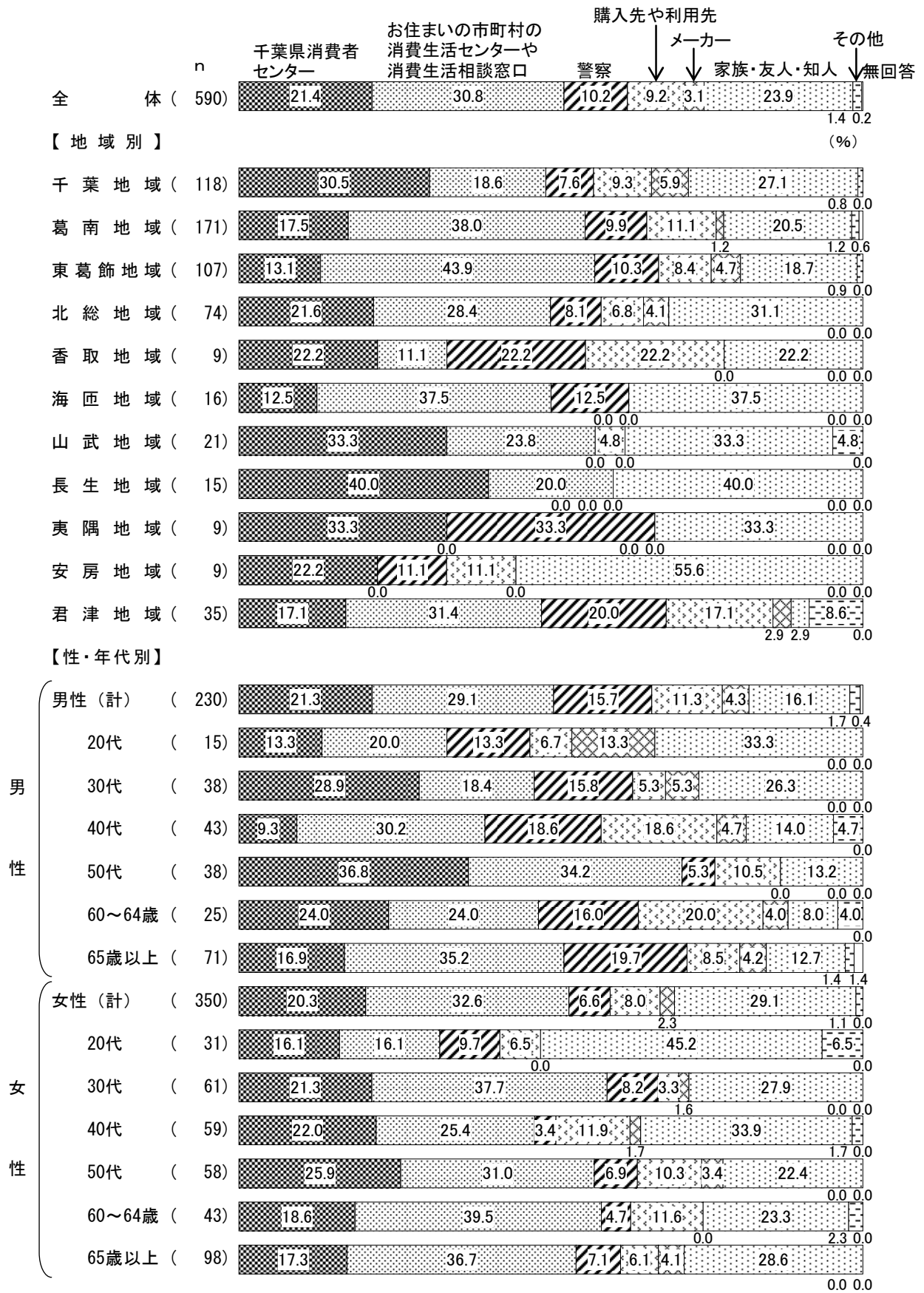
【地域別】

地域別にみると、「お住まいの市町村の消費生活センターや消費生活相談窓口」は“東葛飾地域”(43.9%)が4割台半ばで最も多くなっており、“葛南地域”(38.0%)と“海匝地域”(37.5%)がともに約4割となっている。「家族・友人・知人」は“安房地域”(55.6%)が5割台半ばとなっている。「千葉県消費者センター」は“長生地域”(40.0%)が4割となっている。(図表11-1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「お住まいの市町村の消費生活センターや消費生活相談窓口」は女性の60～64歳(39.5%)、女性30代(37.7%)が約4割と多くなっている。「家族・友人・知人」は女性(29.1%)の方が男性(16.1%)より13.0ポイント高く、特に女性20代(45.2%)で4割台半ばとなっている。「千葉県消費者センター」は男性50代(36.8%)が3割台半ばとなっている。(図表11-1-2)

<図表11-1-2>消費者トラブルを相談できるところ／地域別、性・年代別



(3) 消費者トラブルの相談窓口の整備状況

◇「整備されていると思う」は2割を超える

問12 消費生活のトラブル、商品の安全性の不安、悪質商法の被害にあった時などに相談できる場所が整備されていると思いますか。(○は1つ)

<図表12-1> 消費者トラブルの相談窓口の整備状況



消費生活のトラブル、商品の安全性の不安、悪質商法の被害にあった時などに相談できる場所が整備されていると思うか聞いたところ、「整備されていると思う」(21.9%)は2割を超えている。「整備されていないと思う」(24.0%)は2割台半ばで、「わからない」(52.7%)は5割を超えている。

(図表12-1)

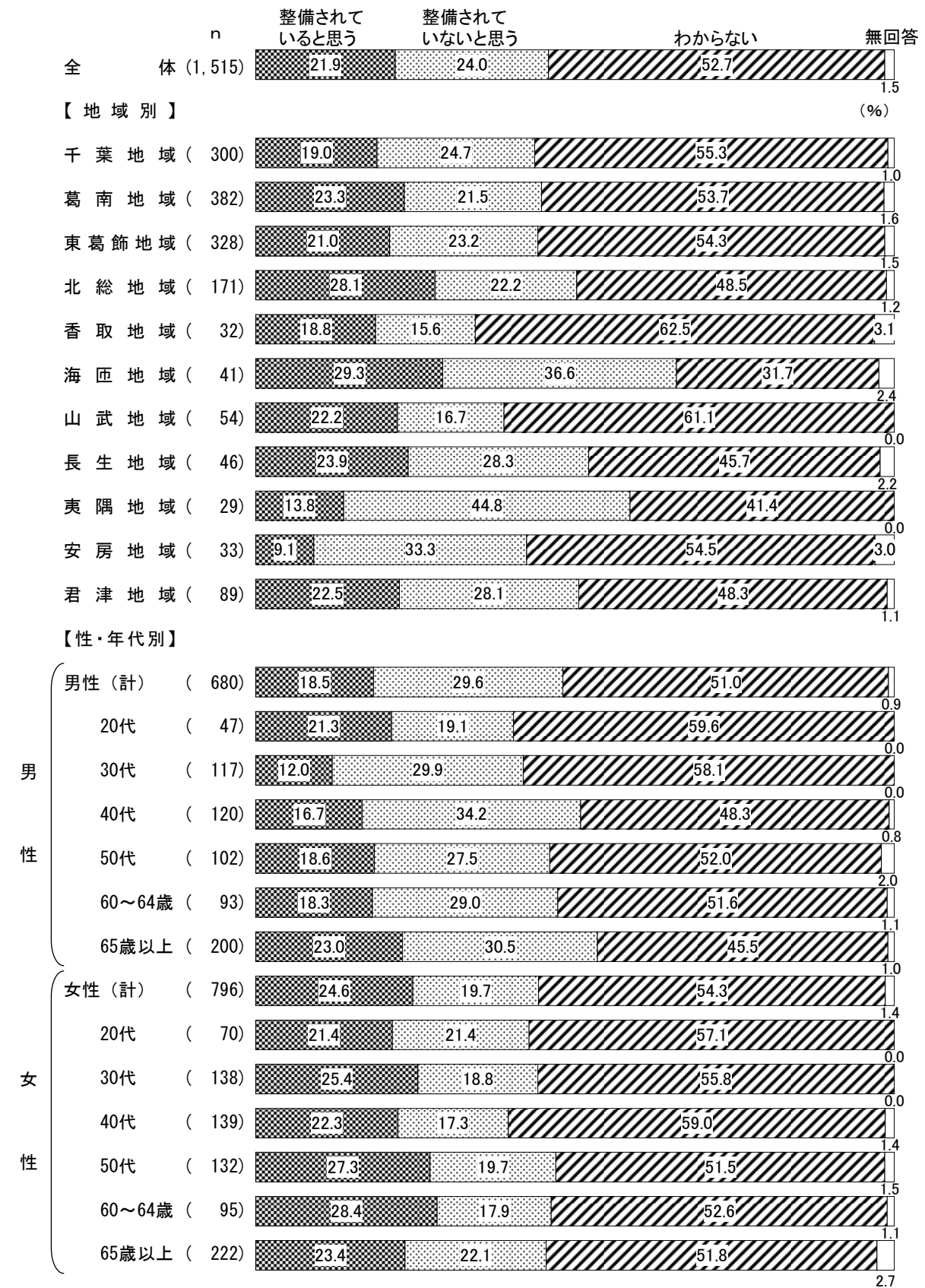
【地域別】

地域別にみると、「整備されていると思う」は“海匝地域”(29.3%)と“北総地域”(28.1%)がともに約3割となっている。「整備されていないと思う」は“夷隅地域”(44.8%)が4割台半ばと最も多くなっている。(図表12-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「整備されていると思う」は女性の50代(27.3%)と60~64歳(28.4%)がともに約3割となっている。「整備されていないと思う」は男性40代(34.2%)が3割台半ばとなっている。(図表12-2)

<図表12-2> 消費者トラブルの相談窓口の整備状況／地域別、性・年代別



(4) 悪質商法は減ってきていると思うか

◇「変わらないと思う」は4割を超え、「増えてきたと思う」が3割台半ば

問13 悪質商法が減ってきたと思いますか。(○は1つ)

<図表13-1> 悪質商法は減ってきていると思うか



悪質商法が減ってきたと思うか聞いたところ、「変わらないと思う」(42.9%)が4割を超えて最も多くなっている。「増えてきたと思う」(34.1%)は3割台半ばで、「減ってきたと思う」(6.1%)は1割に満たない。(図表13-1)

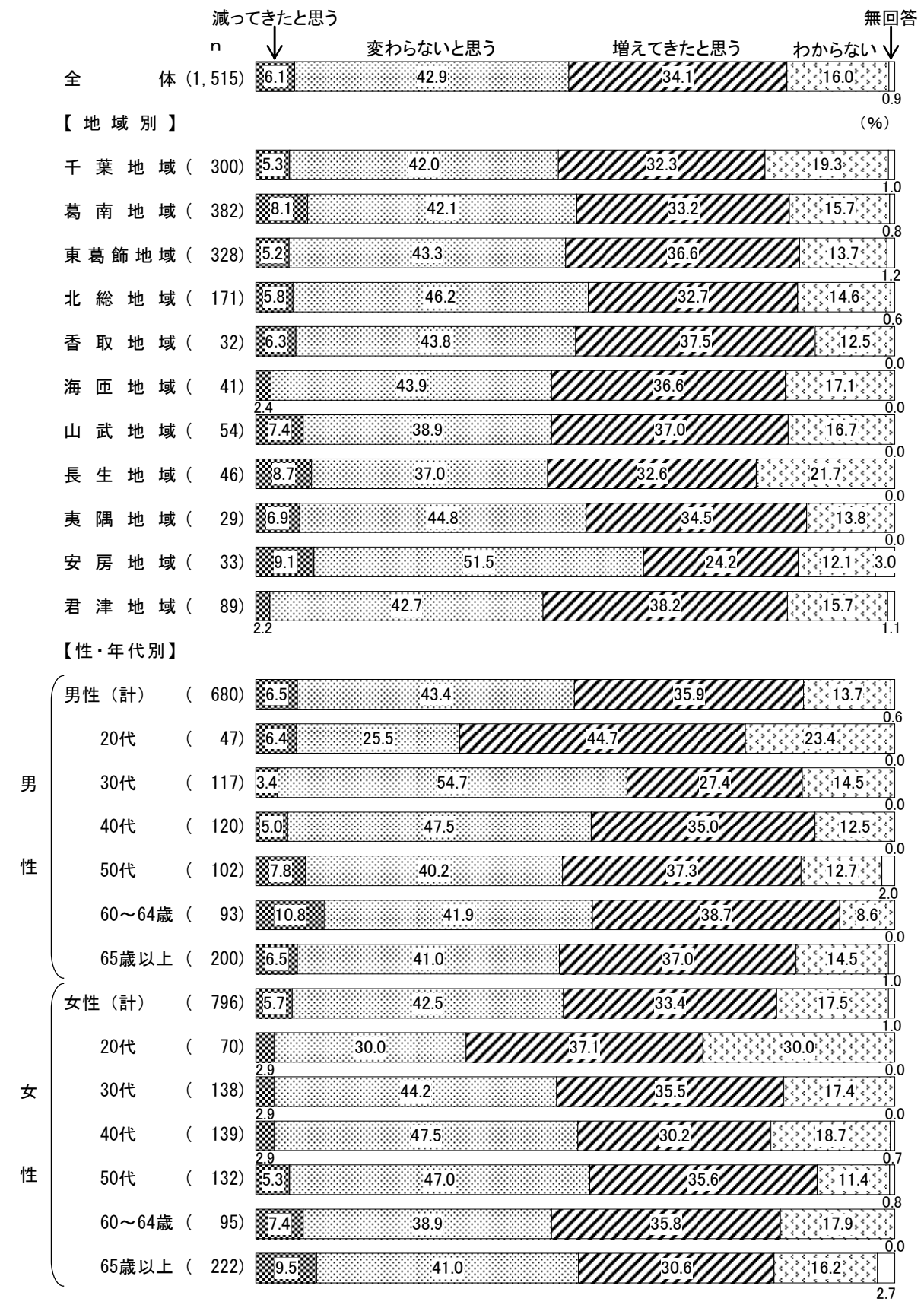
【地域別】

地域別にみると、「増えてきたと思う」は“安房地域”(24.2%)以外のすべての地域で3割台となっている。「減ってきたと思う」はすべての地域で1割に満たない。(図表13-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「増えてきたと思う」は男女とも20代(男性44.7%、女性37.1%)でそれ以外の年代と比べて最も割合が多くなっている。「減ってきたと思う」は男性60~64歳(10.8%)が1割となっている。(図表13-2)

<図表13-2> 悪質商法は減ってきていると思うか／地域別、性・年代別

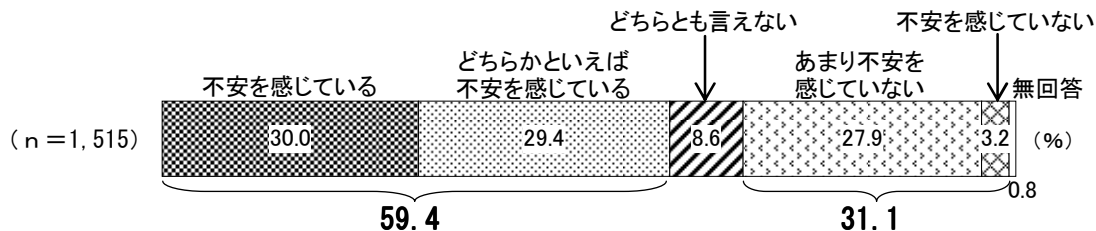


(5) 食の安全に対する不安感

◇『不安』は約6割

問14 食の安全について、不安を感じていますか。(○は1つ)

<図表14-1> 食の安全に対する不安感



食の安全について不安を感じているか聞いたところ、「不安を感じている」(30.0%)と「どちらかといえば不安を感じている」(29.4%)の2つを合わせた『不安』(59.4%)は約6割となっている。「どちらともいえない」(8.6%)は約1割で、「あまり不安を感じていない」(27.9%)と「不安を感じていない」(3.2%)の2つを合わせた『不安を感じない』(31.1%)は3割を超えている。

(図表14-1)

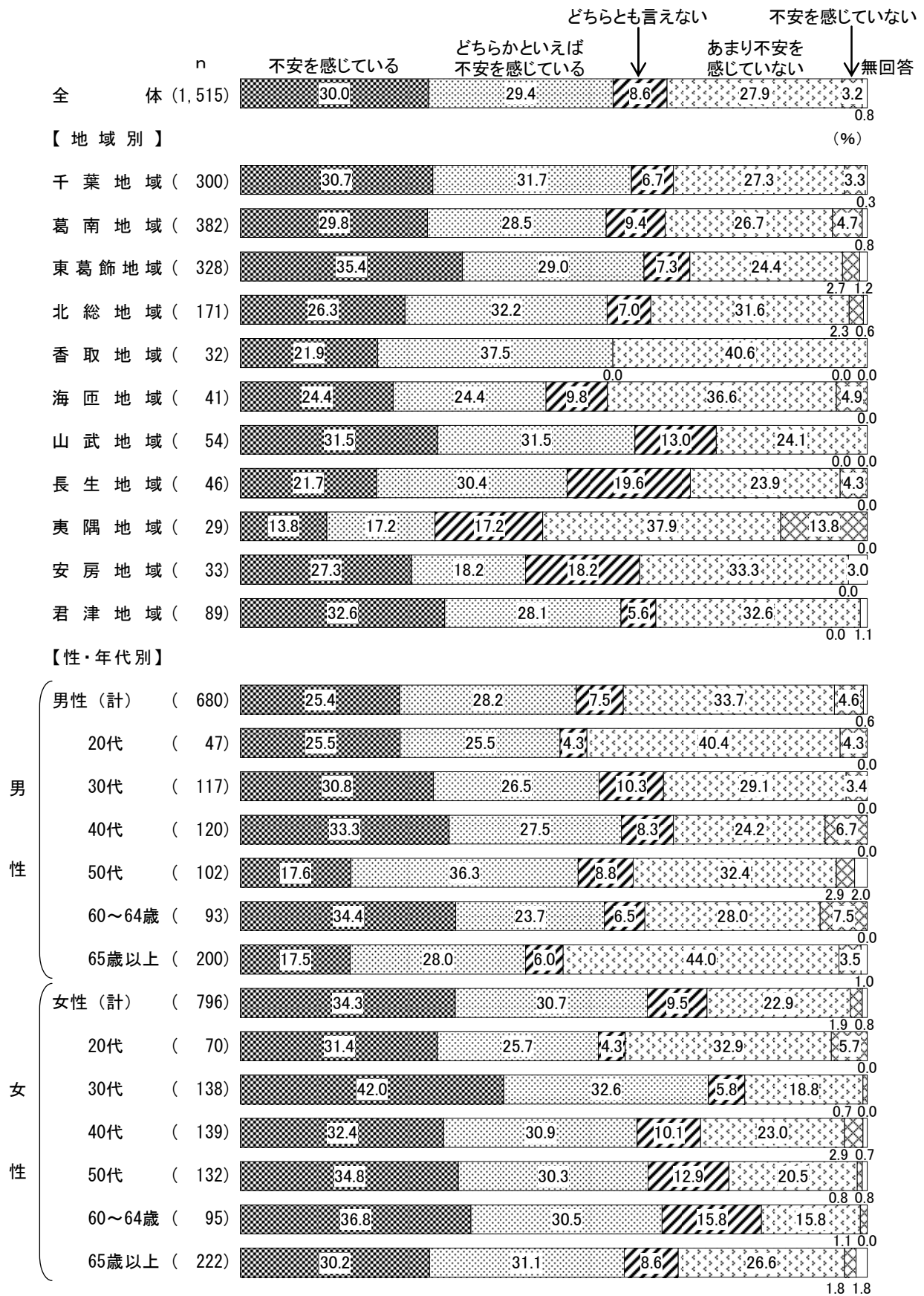
【地域別】

地域別にみると、『不安を感じない』は“夷隅地域”(51.7%)が5割を超えて最も多く、“海匠地域”(41.5%)と“香取地域”(40.6%)でも4割を超えている。(図表14-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『不安』は女性(65.0%)の方が男性(53.6%)より11.4ポイント高く、特に女性30代(74.6%)が7割台半ばと多くなっている。『不安を感じない』は男性65歳以上(47.5%)が約5割と最も多く、以下、男性20代(44.7%)、女性20代(38.6%)が続く。(図表14-2)

<図表14-2> 食の安全に対する不安感/地域別、性・年代別

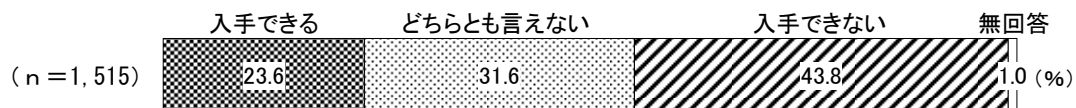


(6) 危険な商品に関する情報の入手

◇「入手できる」は2割台半ば

問15 危険な商品等に関する情報を入手できますか。(○は1つ)

<図表15-1>危険な商品に関する情報の入手



危険な商品等に関する情報を入手できるか聞いたところ、「入手できる」(23.6%)は2割台半ばとなっている。「入手できない」(43.8%)は4割台半ばで、「どちらとも言えない」(31.6%)は3割を超えている。(図表15-1)

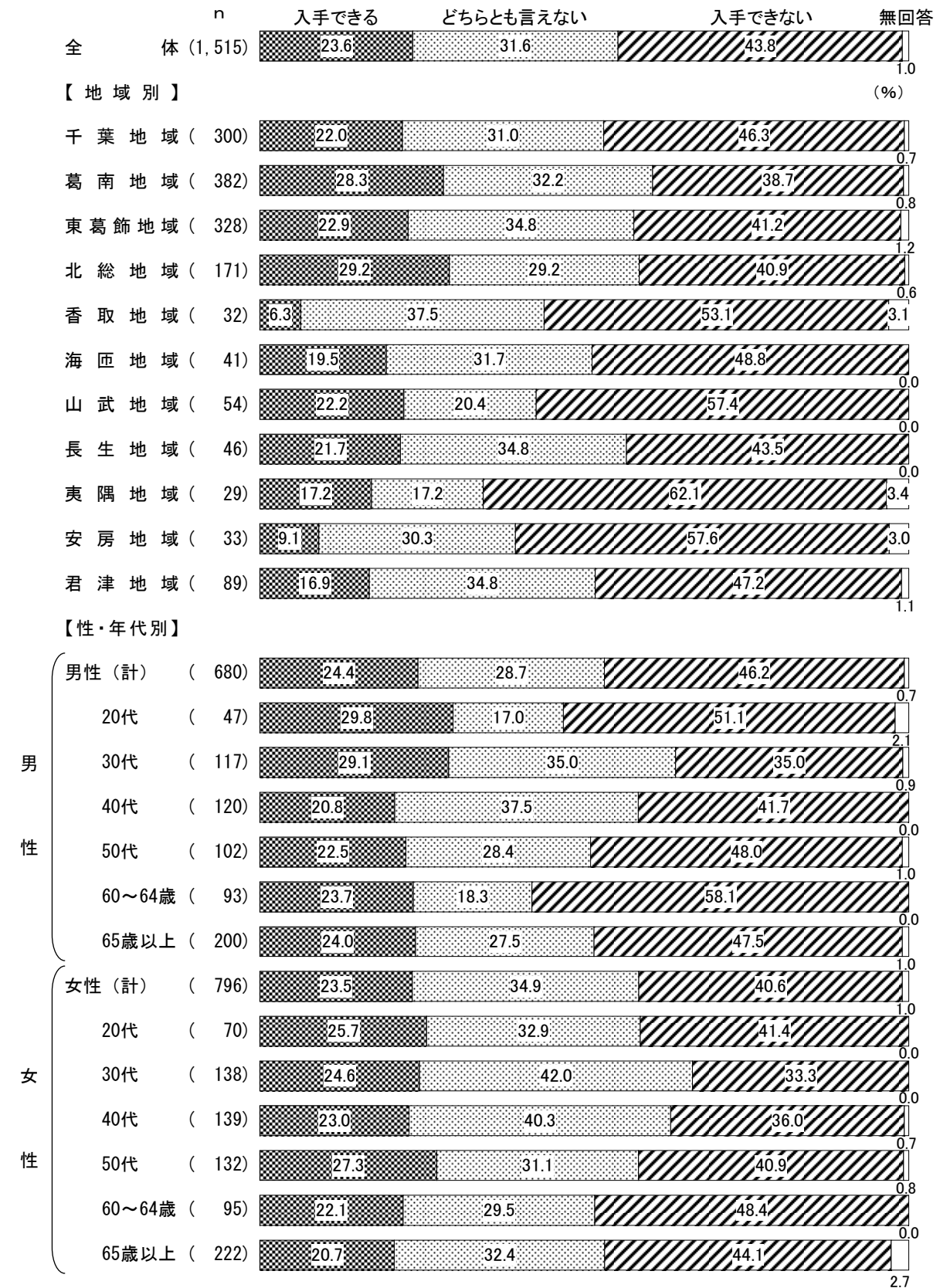
【地域別】

地域別にみると、「入手できる」は“北総地域”(29.2%)と“葛南地域”(28.3%)がともに約3割となっている。「入手できない」は“夷隅地域”(62.1%)が6割を超えて最も多く、“安房地域”(57.6%)と“山武地域”(57.4%)でもともに約6割となっている。(図表15-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「入手できる」は男性20代(29.8%)・30代(29.1%)と女性50代(27.3%)がいずれも約3割となっている。「入手できない」は男性60~64歳(58.1%)が約6割で最も多く、男性20代(51.1%)でも5割を超えている。(図表15-2)

<図表15-2>危険な商品に関する情報の入手/地域別、性・年代別



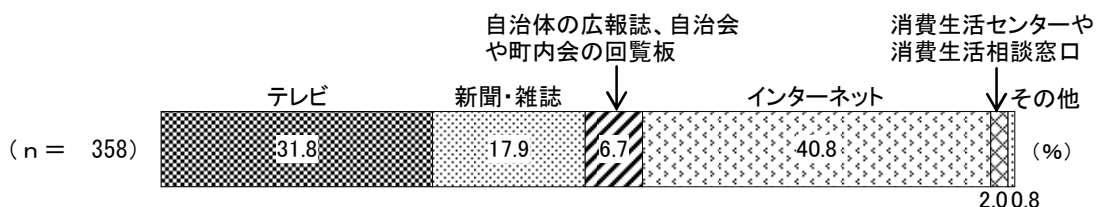
(6-1) 危険な商品に関する情報の入手先

◇「インターネット」が4割

(問15で「入手できる」とお答えの方に)

問15-1 情報の入手先はどこですか。(○は1つ)

<図表15-1-1>危険な商品に関する情報の入手先



危険な商品等に関する情報「入手できる」と答えた人(358人)に、情報の入手先を聞いたところ、「インターネット」(40.8%)が4割で最も多くなっており、以下、「テレビ」(31.8%)、「新聞・雑誌」(17.9%)などが続く。(図表15-1-1)

【地域別】

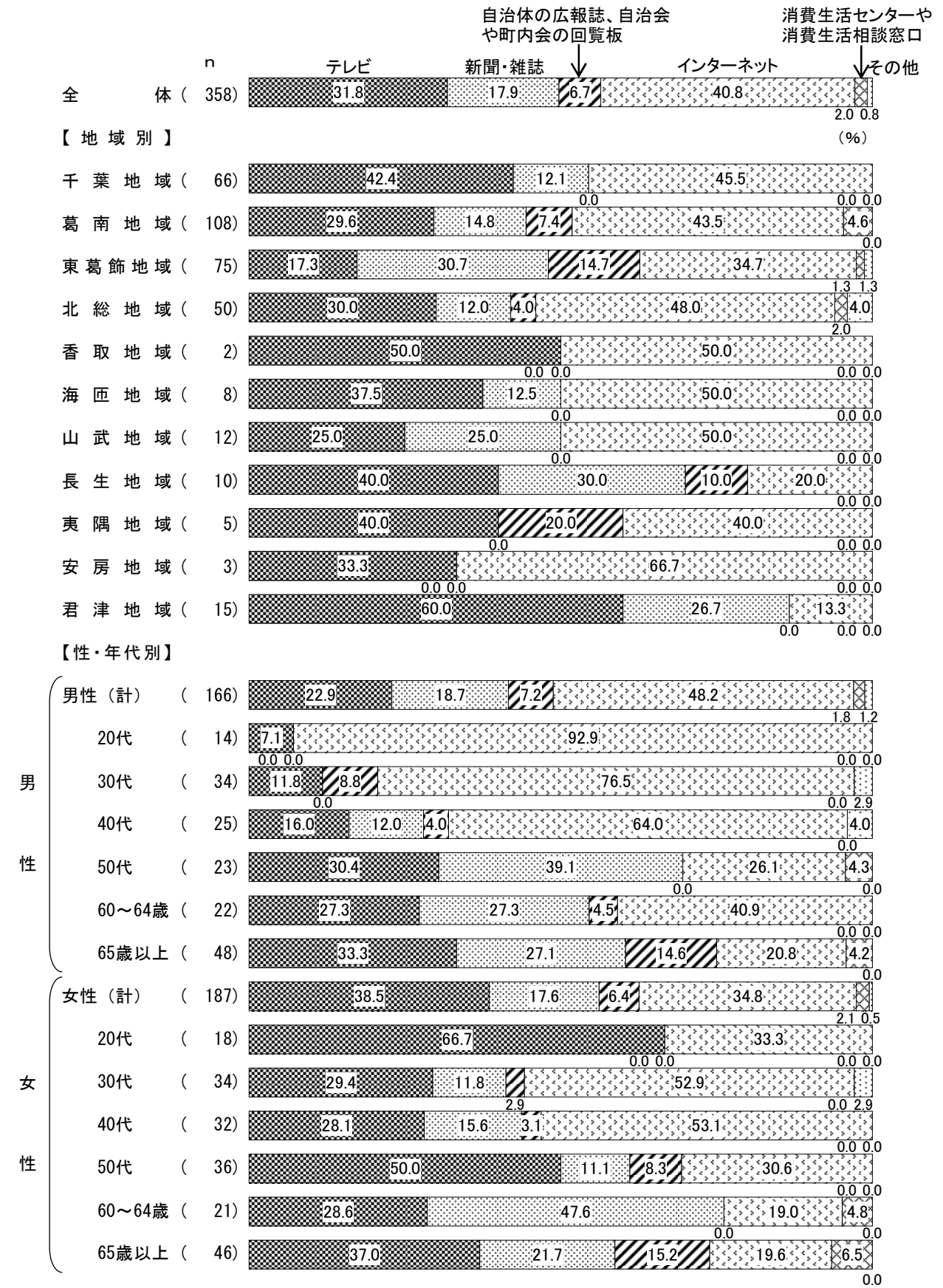
地域別にみると、「テレビ」は“君津地域”(60.0%)が6割となっている。「新聞・雑誌」は“東葛飾地域”(30.7%)と“長生地域”(30.0%)がともに3割となっている。(図表15-1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「インターネット」は男性20代(92.9%)が9割を超え、男性30代(76.5%)が7割台半ばとなっている。「テレビ」は女性20代(66.7%)が6割台半ばで最も多く、女性50代(50.0%)でも5割となっている、「新聞・雑誌」は女性60~64歳(47.6%)で約5割となっている。

(図表15-1-2)

<図表15-1-2>危険な商品に関する情報の入手先／地域別、性・年代別



このほかに、「消費生活について」やここまでの質問（問10～問15）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、148人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「消費生活について」の自由回答（抜粋）

- 消費生活についてのトラブルは時代背景によって変化してゆくものなので、注意喚起や消費者同士の情報交換は必要だと思う。（女性・40代・北総地域）
- 相談窓口に関する情報を積極的に伝達する手段を高齢者にわかり易い形で行って欲しい。（女性・65歳以上・葛南地域）
- 今は自分の身は自分で防衛しなくては、防ぐ事が出来ない。情報収集が出来る人はいいが、出来ない人もいるので、どんどん情報を発信した方がいいと思う。（男性・40代・北総地域）
- こればかりは、本人の自覚が第一だと思います。おいしい話に乗らない事、あとはあやしいと思ったらセンターや友人、知人に相談する事です。（女性・40代・千葉地域）
- 消費トラブルについての相談できる場所は、整備されていると思うが、距離的、時間的に利用しづらいし、あまり広く広報されていないように思う。（男性・50代・長生地域）
- 家庭および学校教育の中で自分の身は自分で守るという事を教えていく必要があると思います。学校では当然今でも実施しているとは思いますが。（男性・50代・葛南地域）
- 最近の原発事故に関する放射能汚染の件はあまりにも神経質になりすぎる傾向がある。今まで報道されて来た放射能の値は微々たるものであり食生活への影響も大騒ぎする程ではないと思う。（男性・65歳以上・東葛飾地域）
- 相談しても、その後のフォローがなく不信感がある。警察は事件性がないと何かあったらまた連絡をくださいで終わる。（男性・60～64歳・君津地域）
- 食の安全を徹底して下さい。小さな子どもがいる為、放射能汚染によって千葉を含む関東近辺の食品の購入をためらってしまいます。国の信用が失われています。県だけはどうか正確な情報を県民に伝えて下さい。（女性・20代・葛南地域）
- 例え公表されるに至っていない件であっても、クレームやトラブルが多い会社については、こちらから電話などで尋ねれば教えてくれれば被害者は減ると思う。出来れば公表を早くして欲しい。（女性・65歳以上・北総地域）